

「生きる力」を育む幼児教育に関するアンケート結果まとめ（保育園・認定こども園）

1 貴園の＜園目標＞を教えてください。

- ・心も体も健康で明るく、元気に遊ぶ。
- ・居心地よく、安全に安心して過ごすことができる。
- ・子供の成長を喜び合える。
- ・優しい心で自分、仲間を大切にできる。
- ・好奇心にあふれ、主体的に取り組むことができる。

2 子どもの「生きる力」を育むための幼児教育についての貴園の考え方を教えてください。

- ・生活や遊びを通して心身の調和的な発達を図り、人格形成やその後の学習の基盤となる豊かな心情を育む。
- ・子どもが主体的に遊びを工夫し、個々の気持ちや行動を尊重し、自己決定させる場面を作る。
- ・友だちとの関わりを通して、自分の思いを伝え、相手の思いも受けとめる力を育てていく。
- ・職員は個を理解しようと努力を惜しまないこと、職員一同で学びあい、発達を喜び合っていく。
- ・職員は保護者と共感し、一緒に子育てをしていく姿勢であり続ける。
- ・子どもが自分の気持ちを安心して表現できる人的、物的環境を大人が学びながら作っていく。
- ・子どもの気持ち、発達を大人がしっかりと捉えて大切にすることで、活動や仲間に気持ちが向き自ら取り組む力を育む。
- ・保育士、保護者、地域の人々との触れ合いをとおし、子ども達の健やかな育ちを支える。

3 上記1、2に基づいてどのような実践、取組みを行っているか教えてください。

- ・職員が自ら学び専門性を発揮し保育に携わることができるよう、園内研修、学習会を定期的に開催する。
- ・子どものエピソードを随時記録し、「クラスだより」や「園だより」に掲載したり、会議や研修などに持ち寄って話し合いを行う。
- ・職員でプロジェクトチームを立ち上げ、幼児保育で目指す事について検討会を行っている。
- ・子ども達が友達とともに健やかな成長を育んでいけるように友達との繋がりを大切にする。職員は子ども達がお互いの気持ちをわかり合えるように働きかけや手助けをしている。
- ・行事等では、子どもたち自身が、様々な体験、経験を通して心と身体が養われるように取り組みを考えている。
- ・異年齢の子どもたちの混合保育の特色を生かし、豊かでやさしい心を育む
- ・園外合宿やお泊りなど、日常出来ない体験の機会も大切にしている。
- ・コーナー保育を行い子ども達が主体的に遊べるよう環境を整える。
- ・戸外活動を充実させ、四季折々の自然に触れ豊かな感性を育む。
- ・食事に興味が向くように野菜の園内栽培や、健康指導、園内で調理する食事を提供すると共に食育を行う
- ・担任だけでなく、他の保育士や栄養士、看護師などと接する機会を増やす。
- ・地域との交流を密に行う。

4 上記1、2について保護者の理解を得るための取組みを教えてください。

- ・日々の送迎時や保護者会等で、保育園での取り組みや個々の様子や成長を伝え、入園の際に、保育室や園庭の説明をし、園児の動きを想像できるようにする。
- ・入園説明会、保護者会などで伝える。
- ・個人ノート、壁新聞、クラス懇談会、個人面談、保育参観を開催する。
- ・園だより、クラスだより、各検討委員会から情報を発信する。
- ・父母会総会、運営委員会等。・第三者評価、利用者調査、保護者アンケート等を受けて意見を伺いフィードバックしている。

5 「生きる力」を育む幼児教育を実践するにあたっての課題を教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が自園の保育の「生きる力」の（目標）ポイントとなる部分を理解して、保育をしていくことを常に心に留めておくこと。</li> <li>・保育士の資質、専門性の向上。</li> <li>・若手保育士の育成。</li> <li>・社会生活の希薄化、遊び場、遊ぶ相手の減少、インターネットの普及などによる生活経験の乏しさ。</li> <li>・卒園後の子どもの様子や就学先での課題の共有。</li> <li>・保育の意図をわかりやすく伝えて保護者の理解に繋げていくことが難しくなっている。</li> <li>・一部の保護者からは、英語やリトミックなど個人に知識を蓄える課題を与えてほしいという要望がある。遊びをとおして子ども達は様々なことを学ぶ、という保育内容を理解していただくことはなかなか難しい。</li> <li>・市内外の他園の取り組みを学ぶ機会があるとよい。</li> <li>・保育士の処遇改善。</li> <li>・子どもの年齢に即した内容にしていくための話し合い、準備。</li> </ul>
6 小学校教育との円滑な接続に向けて近隣の小学校における児童と幼児との交流活動を行っていますか。また、その内容を具体的に教えてください。
定期的に行っている 29%（10 園） 不定期に行っている 6%（2 園） 行っていない 31%（11 園） 未回答 34%（12 園）
定期的に行っている内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回、年長児が小学校に出向き、小学1年生に学校案内をしてもらったり遊んでもらっている。</li> <li>・近隣小学校が企画し、年度末に小学校の訪問をしている。近隣のいくつかの保育園・幼稚園で小学校へ行き、小グループに分かれて学校内を案内してもらったり、小学生体験を行っている。</li> <li>・近隣の小学校から学校生活についてのDVDが届き、それを観ることで小学校生活のイメージがもてたり不安に思う子は少し安心できたりしていた。</li> <li>・年長組が就学前に“学校訪問・見学”へ参加した。内容としては一年生による学校紹介等。また、今年度は一年生が作成した学校紹介のDVDを年長組が視聴した。</li> <li>・公開授業への参観。</li> </ul>
行っていない理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、行わなかった。</li> </ul>
7 小学校教育との円滑な接続に向けて近隣の小学校と職員間の意見交換など何か連携活動を行っていますか。また、具体的に内容を教えてください。
定期的に行っている 29%（10 園） 不定期に行っている 17%（6 園） 行っていない 20%（7 園） 未回答 34%（12 園）
定期的に行っている内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に保育園に来てもらい園児の様子、引継ぎを行う。場合によって子どもの姿を観察してもらう。</li> <li>・開かれた学校協議会への参加で情報意見交換の場を設定している。</li> <li>・小学校へ保育所保育要録、就学相談支援シートを提出している。</li> <li>・校長先生(副校長先生)による年長児保護者に向けた講話。</li> <li>・小学校への避難訓練。</li> <li>・近隣小学校との連絡会に参加し、情報の共有を行っている。</li> </ul>
不定期に行っている内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年生の学習プログラムのお話を学校の先生方から聞く場を設ける。</li> <li>・小学校や学童保育に訪問していただき、子どもの特徴や配慮している点などをお伝えできているのは、非常にありがたいと思っている。開かれた学校協議会に委員として参加し、交流させていただいたり、卒園後の保育園の子どもたちの育ちを見ることで、保育の見直しにも参考にさせていただいている。</li> </ul>

行っていない理由

- ・就学前に、電話や訪問により、必要があれば児童の引継ぎや、園児と小学生の交流は行っているが、教育活動に対する意見交換や連携活動は行っていない。
- ・学校や学童の引継ぎは、3月に行っているが、特別な問題がない限りは行っていない。就学してからも、学校側が対応に悩んでいる事などがあると思うので、いつでも連絡を取り合って対応していけたらいいと思う。

8 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指した連携を行う上での課題を教えてください。

- ・幼児教育と小学校教育等の合同研修等の開催。
- ・定期的な意見交換会の開催。
- ・保育園の保護者懇談会に小学校の先生をお招きし、小学校に向けて等の話をしてもらう。
- ・子ども同士の交流の場をもっていく。
- ・保育園・幼稚園が小学校1年生の学校生活を知る。小学校の先生が保育園の生活を知るなど、お互いのことを知り合う場があるとよい。
- ・現1年生担任と卒園させた側との情報交換及び就学前までの課題共有。
- ・保護者と小学校教諭や副校長等との懇談会。
- ・運動会、作品展、発表会等の行事の誘い他、小学校体験(1年生との交流)の実施。
- ・小学校の先生方との連携を行う上で時間帯をあわせることが難しい。
- ・卒園児が遊びに来られるような保育環境の設定。
- ・就学支援シート・指導要録の書き方の向上。
- ・小学校教員が保育現場を見るなど、小学校側からのアプローチが必要と考える
- ・年間の中で学校見学や行事への参加を行う等があると良い。
- ・小学生(高学年)の職業体験(保育士体験等)の実施。